

経営比較分析表

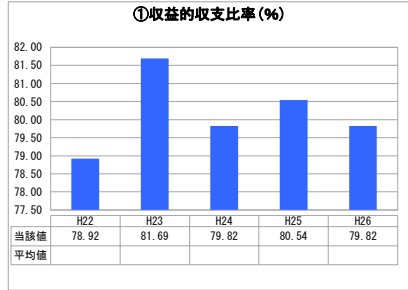
北海道 美幌町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	6.48	100.00
1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)			
4,644			

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,851	438.41	47.56
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,342	430.26	3.12

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



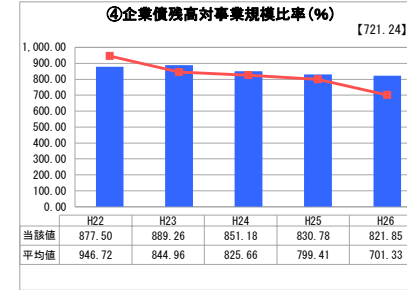
「単年度の収支」



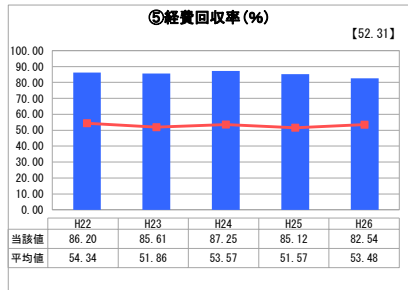
「累積欠損」



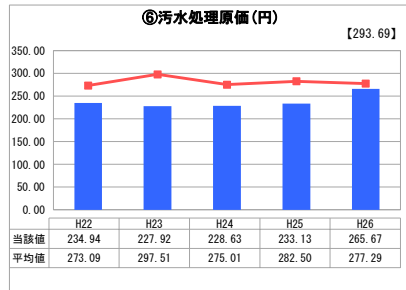
「支払能力」



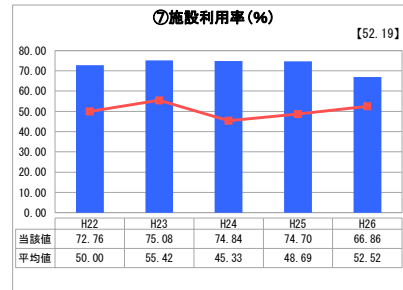
「債務残高」



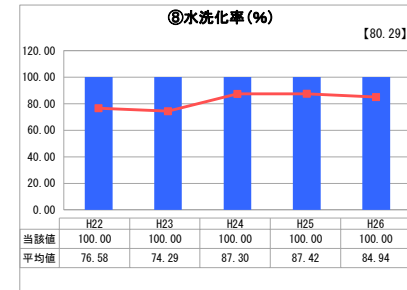
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

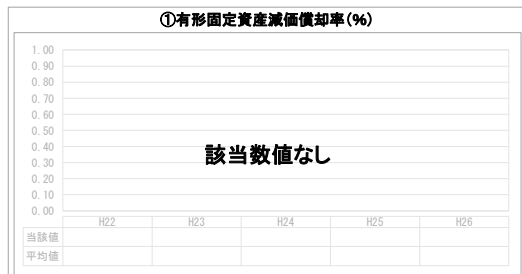


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

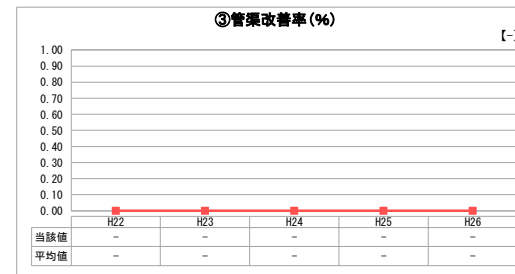
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経費回収率を見ると、全国平均と比較し、高い水準にあることがわかるが、使用料で回収すべき経費を使用料以外の収入で賄われている。
また、収益的収支比率を見ると、若干減少傾向にあり、収益について、使用料以外に依存しており使用料の見直しや汚水処理費の削減が必要となる。

2. 老朽化の状況について

個別排水処理事業は、平成9年度から実施しており、老朽化の状況を示す数値はないが、古いものと平成27年度時点で、18年が経過している。
点検については、年3回の保守点検と、浄化槽法第11条による検査を年1回行っており、修繕が必要と判断された浄化槽について、その都度修繕を行っている。

現時点では、更新工事等の予定はなく、既存施設の適切な維持管理を図る必要がある。

全体総括

今後は、施設の老朽化も進み、離農等による使用者の減少が見込まれ、経営の健全性・効率性を保つためには、使用料の見直しを視野に入れ、経営改善を図っていかねばならない。

また、現在の事業は平成28年度で終了し、平成29年度から新たに事業を開始する。今一度経営改善を含め、今後の個別排水処理事業について、検討していかねばならない。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。